

# 北琉球奄美大島大和村今里方言の敬語法

重 野 裕 美\*

## 1. はじめに

本稿では北琉球奄美大島大和村今里方言の敬語法について、語彙的敬語動詞、敬語補助動詞及び敬語派生接辞を中心とした記述を行う。

第1節では本稿の目的について、第2節では対象地域の概要や言語環境について、第3節では先行研究と今里方言の音声の特徴について述べる。第4節では今里方言のデータの概要と敬語体系を概観する。第5節では尊敬形式について、第6節では謙讓形式について、第7節では丁寧形式について述語を中心とした敬語形式について詳述する。第8節では応答詞と代名詞における敬語形式、第9節では慣用表現における敬語形式、第10節では今里方言と他方言との相違について、第11節は今里方言の敬語体系の特徴についてまとめる。

## 2. 対象地域の概要や言語環境

奄美大島大和村今里方言（以降今里方言）は、奄美大島南部の今里（いまざと）集落（鹿児島県大島郡大和村）で話される（以下地図参照）。大和村役場発行の資料によれば、2017年5月現

在の今里集落の人口は289人（66世帯、男性67人、女性67人）である。今里集落は隣接する宇検村との境界付近に位置し、近くには奄美大島で最も高い湯湾岳がある。

今里方言を流暢に話すのは主に65～70歳以上である。地域における方言継承に関わる活動として、現在、大和村役場が方言によることわざ集を発行し各家庭に配布したり、伝統的な八月踊り<sup>2)</sup>の継承活動が各集落単位で行われたりしている。

## 3. 今里方言

今里方言は奄美大島の南部に位置している今里集落で話されている言語であるが、方言区画の上は北大島方言の下位分類とされている<sup>3)</sup>。

大和村方言の先行研究として、大和村大和浜集落の方言辞典（長田ほか1977・1980）、大和浜集落および津名久集落の親族呼称・アスペクト・形容詞・動詞に関する記述（須山1979・2001・2004・2007・2009）、名音の敬語形式（重野2014）がある。

今里方言の特徴のうち特筆すべき点として日本語の tsu, za, zu, zo に対応する拍がそれぞれ

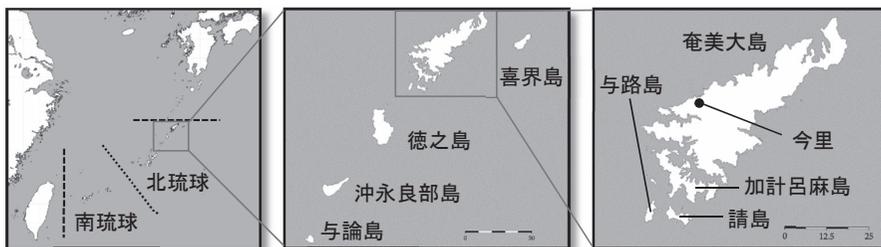


図1 琉球列島／奄美群島／奄美大島／今里集落の位置<sup>1)</sup>

\* 広島経済大学経済学部准教授

れ t'i, da, di, du で現れる (例: t'imī 「爪 (tsume)」, ada 「あざ (aza)」, kidi 「傷 (kizu)」, kudu 「去年 (koso)」)。になる。また、有声阻害音の重子音が許される (shuddiyaa 「するよね」)。

#### 4. 今里方言のデータの概要と敬語体系

本稿では、2017年3月～9月に蘇畑ナツ子氏 (昭和9年生まれ) から得られたデータを扱う<sup>4)</sup>。本稿で示すデータは質問調査から得られたものを扱う<sup>5)</sup>。また、例文の表記は原則、小川 (2015) で提案された表記法に準じている。

現代日本語の共通語では、「敬語とは、同じ事柄を述べるのに、述べ方を変えることによって敬意あるいは丁寧さをあらわす、そのための専用の表現である」と定義される (菊地2007: 91)。今里方言の敬語体も意味的分類としては、日本語の共通語と同様、述語を中心に敬語が認められ、尊敬、謙譲、丁寧に分類することができる。運用法の詳細は異なるが、便宜上、日本

語共通語の定義に準じた分類に基づき、敬語形式の形態的特徴を整理していく。敬語標示は述語が中心となるが、応答詞や代名詞、定型表現にも表れる。以下、今里方言の敬語体系について表にまとめる。

「行く／来る」の尊敬動詞語幹と「居る」の尊敬動詞語幹は imor- で同じ語幹を共有しているが、過去形<sup>6)</sup>と命令形が異なるため別の動詞として扱う。また、「言う」の意味の尊敬動詞語幹も imor- であるが意味が大きく異なるため別の動詞として扱う。

尊敬動詞の udidimor- は日常的にはすでに用いられなくなっているが定型表現として慣用的に残存しているため敬語体系に反映させる。

謙譲語幹の èësi- や ugam- は使用される場面が限定されつつあるが、目上への表現として用いられるため謙譲形式として反映させる。

「人が死ぬ」ことを意味する moori という動名詞があるが、単独では用いられず、常に「する」の意味に相当する動詞 s(i)- を伴い述語と

表1 今里方言の敬語体系

	尊敬	謙譲	丁寧
動詞語幹	imor- (「行く／来る」の意味) imor- (「居る」の意味) imor- (「言う」の意味) mishor- (「食べる／飲む」の意味) yasimor- (「寝る」の意味) udidimor- (「起きる」の意味)	èësi- (「やる」の意味) ugam- (「会う」の意味)	—
動詞派生接辞	-timor-	—	-(r)yao-
補助動詞語幹	imor- (移動)	—	—
応答詞	—	—	oo (肯定) hoo (返事・聞き返し)
代名詞	nyan (2人称単数) nattari (2人称双数) nyakya (2人称複数)	—	—

して用いる。「亡くなる」の尊敬形式<sup>7)</sup>には、*imor-*「居る」の尊敬動詞の否定形と *nar-*「なる」を用いた迂言的表現も用いられる。以下に例を示す。

(1) *an shenshee=ya imor-an*

あの先生=TOP 居る.HON-NEG  
*na-ta=ddoo*.【居る+なる；過去否定】  
 なる-PST1=SFP  
 「あの先生は亡くなったね。」

## 5. 尊敬形式

敬語は述語を中心として現れる。本節では、語彙的尊敬動詞、尊敬補助動詞、尊敬接辞について概観する。他の奄美大島方言では非尊敬動詞語幹に尊敬接辞の *-i(n)sho-* が後接し尊敬形式化する地域が多いが、今里方言では *-i(n)sho-* は用いられない。その代わりとして、他方言で尊敬の継続の補助動詞として用いられる形式 (*mor-*) が、継起形の接辞と融合し、継続の意味を失って尊敬接辞として用いられる。

### 5.1 語彙的尊敬動詞

語彙的尊敬動詞としては、*imor-*（「居る」の意味に相当）、*imor-*（「行く／来る」の意味に相当）、*imor-*（「言う」の意味に相当）、*mishor-*（「食べる／飲む」の意味に相当）、*yasimor-*（「寝る」の意味に相当）、*udidimor-*（「起きる」の意味に相当）がある。

表2 尊敬動詞語幹と非尊敬動詞語幹

	尊敬動詞語幹	非尊敬動詞語幹
居る	<i>imor-</i>	<i>wur-</i>
行く／来る	<i>imor-</i>	<i>ik- / k-</i>
言う	<i>imor-</i>	<i>y'-</i>
食べる／飲む	<i>mishor-</i>	<i>kam-/num-</i>
寝る	<i>yasimor-</i>	<i>nĩbur-</i>
起きる	<i>udidimor-</i>	<i>hĩi-</i>

以下、尊敬動詞の *imor-*（「行く／来る」）、*imor-*（「居る」）、*imor-*（「言う」）、*mishor-*（「食べる／飲む」）、*yasimor-*（「寝る」）、*udidimor-*（「起きる」）の例とこれらに意味的に対応する非尊敬動詞の対照の例を示す。

(2) *shenshee=ya yaa=nan*

先生=TOP 家=LOC  
*imor-uti=naa?*【居る；尊敬】  
 居る.HON-PST1=YNQ  
 「先生は家にいらっしゃいましたか？」

(3) *y'aa=ya k'inyu yaa=nan*

2SG=TOP 昨日 家=LOC  
*wu-ti=naa?*【居る；非尊敬】  
 居る-PST1=YNQ  
 「お前は昨日家に居たか？」

(4) *shenshee nyan=na k'inyu*

先生 2SG.HON=TOP 昨日  
*kominkan=kachi imo-chi=naa?*  
 公民館=ALL 行く.HON-PST1=YNQ  
 「先生、あなたは昨日公民館へいらっしゃいましたか？」  
 【行く；尊敬】

(5) *y'aa=ya k'inyu koominkan*

2SG=TOP 昨日 公民館  
*i-ji=naa?*【行く；非尊敬】  
 行く-PST1=YNQ  
 「お前は昨日公民館へ行ったか？」

(6) *shenshee nyan=na k'inyu wa-kya*

先生 2SG.HON=TOP 昨日 1-PL  
*yaa-chi imo-chi=naa?*【来る；尊敬】  
 家=ALL 来る.HON-PST1=YNQ  
 「先生、あなたは昨日私たちの家へいらっしゃいましたか？」

- (7) y'aa=ya k'inyu wakya yaa=chi  
 2SG=TOP 昨日 1.PL 家=ALL  
 c'hii=naa? 【来る：非尊敬】  
 来る.PST1=YNQ  
 「お前は昨日私たちの家に来たか？」
- (8) shenshee nyan=na n'ama  
 先生 2SG.HON=TOP 今  
 nuu=chi imo-chii? 【言う：尊敬】  
 何=QUOT 言う.HON-PST1  
 「先生、あなたは今何とおっしゃいましたか？」
- (9) y'aa=ya n'ama nuu=chi  
 2SG=TOP 今 何=QUOT  
 i-chii? 【言う：非尊敬】  
 言う-PST1  
 「お前は今何と言ったか？」
- (10) shenshee nyan=na si'kama=ya  
 先生 2SG.HON=TOP 朝=TOP  
 nuu misho-chii? 【食べる：尊敬】  
 何 食べる.HON-PST1  
 「先生、あなたは朝は何を召し上がりましたか？」
- (11) y'aa=ya si'kama=ya nuu  
 2SG=TOP 朝=TOP 何  
 ka-dii? 【食べる：非尊敬】  
 食べる-PST1  
 「お前は朝は何を食べたか？」
- (12) shenshee nyan=na yubi=ya  
 先生 2SG.HON=TOP 昨晚=TOP  
 nanji yasimo-chi?  
 何時 寝る.HON-SEQ  
 「先生、あなたは昨晚何時にお休みになりましたか？」
- (13) y'aa=ya k'inyu nanji  
 2SG=TOP 昨日 何時  
 ni'bu-tii? 【寝る：非尊敬】  
 眠る-PST1  
 「お前は昨日何時に寝たか？」
- (14) shenshee nyan=na nanji  
 先生 2SG.HON=TOP 何時  
 {udidimo-chii?  
 起きる.HON-PST1  
 /hi'i-timo-chii?} 【起きる：尊敬】  
 起きる-HON-PST1  
 「先生、あなたは何時にお目覚めになりましたか？」
- (15) y'aa=ya si'kama nanji  
 2SG=TOP 朝 何時  
 hi'i-tii? 【起きる：非尊敬】  
 起きる-PST1  
 「お前は朝何時に起きたか？」
- 尊敬動詞に関して、主語に目上と同輩以下が含まれる場合は、その目上が聞き手と同一人物である場合のみ用い、その場面以外では尊敬動詞は用いられない。以下にその例を示す。
- (16) watt'ari mukashi=ya hokkaido=nkya  
 1DU 昔=TOP 北海道=APPR  
 imo-cha=yaa. 【聞き手：主語・目上】  
 行く.HON-PST1=SFP  
 「私たち昔は北海道など行きましたね。(一緒に行った本人に)」
- (17) shenshee+wattari hokkaidoo=chi  
 先生+1DU 北海道=ALL  
 ija=ddoo. 【聞き手：第三者・目上】  
 行く-PST=SFP  
 「先生と私は北海道へ行きましたよ。」

存在動詞には“(ヒト名詞=TOP) 親族名詞 (=NOM/=TOP) 存在動詞”で親族の所有(「(ヒト X には) 親族 Y {が/は} いる」)を表す構文がある。この構文では、X が話し手より目上であれば、(Y が話し手より目下であっても)尊敬動詞 *imor-* を用いることができる。以下に例を示す。

(18) *an shenshee=ya k'waa=nu*  
あの 先生=TOP 子=NOM  
*imor-u=kai?* 【家族関係：所有・尊敬】  
居る.HON-NPST=Q  
「あの先生にはお子さんがいらっしゃるか  
な？」

(19) *shenshee nyan=na mago=ya*  
先生 2SG.HON=TOP 孫=TOP  
*nannin imor-uri?* 【家族関係：所有・尊敬】  
何人 居る.HON-NPST  
「先生、あなたにはお孫さんは何人いらっ  
しゃいますか？」

## 5.2 尊敬接辞

尊敬接辞には、語彙的尊敬動詞由来の形式 (-*timor-*) が用いられる。尊敬接辞の形式や機能に関しては他方言と異なる部分があるため、詳細は第10節で述べる。以下、尊敬接辞が非敬語動詞語幹・形容詞1語幹・(形容詞2述語に用いる)補助動詞 *ar-*・(名詞述語に用いる)コピュラ動詞語幹に後接している例と尊敬接辞が後接していない例を対比させながら示す(なお、形容詞1は接辞 *-sa/-sha-* によって動詞 *ar-* (「ある」の意味に相当)に準じた活用を示す。形容詞2は接辞 *-na-* をとって名詞を修飾する)。

(20) *shenshee nyan=na k'inyuu*  
先生 2SG.HON=TOP 昨日

*nuchiyun yeiga mi-chimo-chii?*  
何という 映画 見る-HON-PST1  
「先生、あなたは昨日何という映画をご覧  
になりましたか？」【尊敬接辞あり：動詞】

(21) *y'aa=ya nuchiyun yeiga*  
2SG=TOP 何という 映画  
*mi-chii?* 【尊敬接辞なし：動詞】  
見る-PST1  
「お前は何という映画を見た？」

(22) *shenshee nyan=na shee=nu*  
先生 2SG.HON=TOP 背=NOM  
*taa-sat-timor-u=yaa.*  
高い-ADJ-HON-NPST=SFP  
「先生、あなたは背が高いですね。」  
【尊敬接辞あり：形容詞1】

(23) *y'aa=ya shee=nu*  
2SG=TOP 背=NOM  
*taa-sa=bbayaa.* 【尊敬接辞なし：形容詞1】  
高い-ADJ.NPST=SFP  
「お前は背が高いね。」

(24) *an shenshee=ya*  
あの 先生=TOP  
*midira-shat-timor-u=ddiyaa.*  
面白い-ADJ-HON-NPST=SFP  
「あの先生は面白いね。」  
【尊敬接辞あり：形容詞1】

(25) *y'aakya=ga ututu=ya*  
2SG=GEN 弟=TOP  
*midira-sha=yaa.*  
面白い-ADJ.NPST=SFP  
「お前の弟は面白いな。」  
【尊敬接辞なし：形容詞1】

- (26) shenshee nyan=na uta=ya  
先生 2SG.HON=TOP 歌=TOP  
joodi a-timor-u=yaa.  
上手 AUX-HON-NPST=SFP  
「先生、あなたは歌お上手ですね。」  
【尊敬接辞あり：形容詞2】

- (27) y'aa=ya uta=ya  
2SG=TOP 歌=TOP  
joodi=yaa. 【尊敬接辞なし：形容詞2】  
上手=SFP  
「お前は歌上手だね。」

- (28) shenshee duku-sat-timor-un=nyaa?  
先生 元気-ADJ-HON-NPST=YNQ  
「先生お元気ですか？」  
【尊敬接辞あり：形容詞1】

- (29) kun c'huu=ya gakkoo=nu shenshee  
この人=TOP 学校=GEN 先生  
a-timor-u=ddoo.  
COP-HON-NPST=SFP  
「この方は学校の先生であられるよ。」  
【補助動詞・コピュラ動詞】

尊敬接辞 -timor- が、存在動詞 ar-「ある」に後続すると、「(A=TOP) B=NOM a-ti mor-」の形で、「(Aには) Bがある」という所有の構文になり、所有者が目上である場合に用いられる。

- (30) (shenshee=ya) yamatohama=nan hatë=nu  
(先生=TOP) 大和浜=LOC 畑=NOM  
a-timor-un=nyaa? 【尊敬接辞・所有構文】  
ある-HON-NPST=YNQ  
「(先生は) 大和浜に畑がおありになりますか (=畑をお持ちですか) ?」

- (31) y'aa=ya yamatohama=nan hatë=nu  
2SG=TOP 大和浜=LOC 畑=NOM  
a-n=nyaa?  
ある-NPST=YNQ  
「お前は大和浜に畑があるか？」  
【尊敬接辞なし：存在動詞(所有)】

尊敬接辞 -timor- は形容詞1語幹に後接する場合は、主語が目上でなくても聞き手が目上であれば用いることができる場合がある。よって、丁寧標示化している可能性があるが、詳細な分析は今後の課題とする。

- (32) shenshee kuu=ya  
先生 今日=TOP  
atsi-sat-timor-u=yaa.  
暑い-ADJ-HON-NPST=SFP  
「先生、今日は暑いですね。」  
【尊敬接辞あり：形容詞：丁寧形式化】

### 5.3 尊敬補助動詞

尊敬の補助動詞には方向や移動「(して) いく / (して) くる」の意味に相当する imor- がある。以下、尊敬補助動詞の例を示す。

- (33) shenshee=ya yaa=ra iji-ti  
先生=TOP 家=ABL 出る-SEQ  
imo-cha=ddoo.  
行く(AUX).HON-PST1=SFP  
「先生は家から出ていらっしやっつよ。」  
【行く；尊敬・補助動詞・移動】

- (34) ututu=ya yaa=ra iji-ti  
弟=TOP 家=ABL 出る-SEQ  
i-ja=ddoo.  
行く(AUX)-PST1=SFP  
「弟は家から出て行ったよ。」  
【行く；非尊敬・補助動詞・移動】

- (35) shenshee=ya k'inyu shima=chi  
 先生=TOP 昨日 島=ALL  
 mudu-ti imo-cha=ddoo.  
 戻る-SEQ 来る(AUX).HON-PST1=SFP  
 「先生は昨日島に戻っていらっしゃったよ。」【来る：尊敬・補助動詞・移動】

「先生は隣の部屋で一時間お休みになってこられたよ。」

【来る：尊敬・補助動詞・移動】

- (36) ututu=ya k'inyu shima=chi mudu-ti  
 弟=TOP 昨日 島=ALL 戻る-SEQ  
 c'ha=ddiyaa.  
 来る(AUX)-PST1=SFP  
 「弟は昨日島に戻って来たよ。」  
 【来る：非尊敬・補助動詞・移動】

- (38) nashe=nantī gohan misho-chi  
 名瀬先生=TOP ご飯 食べる.HON  
 imo-chan. 【来る：尊敬・補助動詞・移動】  
 来る(AUX)-PST1  
 「名瀬でご飯を召し上がってこられたよ。」

#### 5.4 語彙的尊敬動詞の語形変化

語彙的尊敬動詞の語形変化を以下の表3にまとめる（なお、表中の「—」は回答が得られなかったことを示す）。過去2は習慣または反事実条件文の主節に用いる形式である。尊敬動詞は基本的に語形変化を共有しており、特に「行く/来る」「言う」と「居る」は、同形になる場合が多いが、過去1（及び継起）において、前者の語末がchi/chan、後者の語末がuti/utanとなる点が異なる。また命令においても前者の語末がi、後者の語末がuriになる点が異なる。

尊敬補助動詞は語彙的尊敬動詞と共起することが可能である。以下に例を示す。

- (37) shenshee=ya adëran=nu heya=nantī  
 先生=TOP 隣=GEN 部屋=LOC  
 ichijikan yasimo-chi  
 一時間 寝る.HON-SEQ  
 imocha=ddoo.  
 来る(AUX)-PST1=SFP

表3 語彙的尊敬動詞の語形変化

		行く 来る	言う	居る	食べる 飲む	眠る
屈折	命令	imori	imori	imoruri	mishori	yasimori
	禁止	imonna	imonna	imonna	mishonna	yasimonna
	勧誘	imoro	imoro	imoro	mishoro	yasimoro
	非過去	imorun	imorun	imorun	mishorun	yasimorun
	否定	imoran	imoran	imoran	mishoran	yasimoran
	過去1	imochi imochan	imochi imochan	imoruti imorutan	mishochi mishochan	yasimochi yasimochan
	過去2	imoruti imorutan	imoruti imorutan	—	mishoruti mishorutan	yasimoruti yasimorutan
継起	imochi	imochi	imoruti	mishoruti	yasimochi	
派生	願望	imorichasa	—	imorichasa	mishorichasa	yasimorichasa
	継続	imochun	—	—	mishochun	yasimochun

## 6. 謙讓形式

語彙的謙讓動詞として *ëësi-* (「やる」の意味) と *ugam-* (「会う」の意味) がある。*ëësi-* は「仏壇に供物を供える」場面で用いられることが多いが目上への授受表現として用いても良いため謙讓動詞の語幹として数える。また、*ugam-* は聞き手が目上でも用いられず、定型表現に残存している (第9節参照)。

- (39) *shenshee kun hana*  
先生=TOP この花  
*ëësi-ro=yaa*. 【やる；謙讓・意志】  
差し上げる-INT=SFP  
「先生、この花を差し上げましょうね。」
- (40) *kun hana y'an=ni k'urí-roo=yee*.  
この花 2SG=DAT やる-INT=SFP  
「この花をお前にやろう。」  
【やる・非敬語・意志】

## 7. 丁寧形式

丁寧形式としては、丁寧接辞 *-(r)yao-* がある。今里方言の丁寧形式は聞き手が目上であっても基本的には用いない傾向があるが、調査者の用例を用いて確認すると容認されるため丁寧形式として数える。以下、動詞述語、形容詞述語、名詞述語の丁寧形式を示す。

- (41) *wan=na n'ama=ra tégami*  
1SG=TOP 今=ABL 手紙  
*kak-yao=ddoo*. 【動詞述語】  
書く-POL.NPST=SFP  
「私は今から手紙を書きますよ。」

- (42) *shenshee kuu=wa*  
先生 今日=TOP

*achu-sa-ryao-n=yaa?* 【形容詞述語】

暑い-ADJ-POL-NPST=YNQ

「先生、今日は暑いですね?」

- (43) *wan=na takashi=nu k'waa*  
1SG=TOP タカシ=GEN 子ども  
*da-ryao=ddoo*. 【名詞述語】  
COP-POL.NPST=SFP  
「私はタカシの子どもですよ。」

丁寧接辞は動詞語幹のうち、尊敬動詞語幹や尊敬動詞語幹の意味に相当する非尊敬動詞語幹には後接しないという承接制限がある。

- (44) *\*shenshee=ya yuugohan*  
先生=TOP 夕ご飯  
*misho-yao=ddoo*.  
食べる.HON-POL.NPST=SFP  
「\*先生は夕ご飯を召し上がりますよ。」  
【動詞述語・尊敬動詞語幹 (*mishor-*「召し上がる」) + 丁寧接辞 *-(r)yao*】

- (45) *\*shenshee=ya yuugohan*  
先生=TOP 夕ご飯  
*kam-yao=ddoo*.  
食べる-POL.NPST=SFP  
「\*先生は夕ご飯を食べますよ。」  
【動詞述語・尊敬動詞語幹 (*mishor-*「召し上がる」) の意味に相当する非尊敬動詞語幹 (*kam-*「食べる」) + 丁寧接辞 *-(r)yao*】

## 8. 応答詞および代名詞

応答詞には目上に対して用いる *oo* 「はい (肯定)」がある。代名詞には、2人称・単数の *nya* 「あなた」、2人称・複数の *nyakya* 「あなたたち」、2人称・双数の *natt'ari* 「あなたたち2人」がある。

- (46) oo gashi=doo. ばんは。]  
はい.POL そう=SFP  
「はい、そうですよ。」  
【目上に対して・肯定】
- (47) yii gashi=doo. 【目下に対して・肯定】  
うん そう=SFP  
「うん、そうだよ。」
- (48) nya=nin hanashi-chasa-n  
2SG.HON=DAT 話す-DES-NPST  
kutu=nu aa=mun. 【2人称・単数】  
こと=NOM1 ある.NPST=SFP  
「あなたに話したいことがある。」
- (49) nyakya daa=ra  
2PL.HON どこ=ABL  
imoo-chii? 【2人称・複数】  
来る.HON-PST1.WHQ  
「あなたたちはどこからいらっしやっ  
たのか？」
- (50) natt'ari=ya daa=ra  
2DU.HON=TOP どこ=ABL  
imoo-chii? 【2人称・双数】  
来る.HON-PST1.WHQ  
「あなたたち2人はどこからいらっしや  
ったのか？」
- (51) ugam-insho-ran.  
お会いする-HON-NEG.NPST(?)  
「おはようございます／こんにちは／こん
- (52) udiidimo-chi=naa?  
起きる.HON-PST1=YNQ  
「お目覚めになりましたか？」
- (53) igii ugan+du-sat-timor-u=yaa.  
INTJ お会いする+遠い-ADJ-HON-NPST=SFP  
「まあ、お久しぶりですね。」
- (54) k-yao-roo.  
来る-POL-INT  
「ごめんください」
- (55) imoor-ii!  
来い.HON-IMP  
「いらっしやい！」
- (56) imoor-ii!  
行く.HON-IMP  
「行ってらっしやい！」
- (57) udiidimo-chi=naa?  
起きる.HON-PST=WHQ  
「お目覚めになりましたか？」
- (58) mishor-ii!  
食べる.HON-IMP  
「召し上がれ！」

## 9. 定型表現

敬語形式は主に述語を中心として現われるが、定型表現にも多く現われる。本節では、対象地域で敬語形式が含まれている定型表現を以下に示す。

- (59) mura-oo=yee  
もらう-INT=SFP  
「いただきますね」
- (60) arigyatësama a-ryao-ta.  
ありがたいこと ある(AUX)-POL-PST  
「ありがとうございました。」

(61) simyaoran=yaa.

すみません.HON=SFP

「すみませんね。」

(62) k'waa=nu m'arī-tī

子=NOM 生まれる-SEQ

ic-chat-timo-cha=yaa.

良い-ADJ-HON-PST=SFP

「子どもが生まれて良かったですね。」

## 10. 今里方言と他方言との相違

本節では、今里方言の敬語法について他の奄美大島方言との比較から特筆すべき点を中心に述べる。

まずは、語彙的尊敬語幹の音形について述べる。「居る」、「行く／来る」及び「言う」の尊敬動詞語幹について、以下の表に示すように、両唇鼻音が含まれる方言が多いことが分かる。今里方言は両唇鼻音の前に母音の i が表れる。

佐仁方言では母音間の両唇鼻音の脱落（及び母音融合）が起きており（例 yaa 「山」, paa 「浜」, au 「雨」, mau 「豆」, k'oo 「雲」, oota 「思った」, yuu 「嫁」, suuta 「染めた」, 尊敬動詞についても同様の変化が生じたと考えられる。なお、佐仁方言同様、母音間で両唇鼻音の弱化／脱落（例 yawa 「山」, awī 「雨」, oota 「思った」）が見られる与路島与路方言でも、「居る」及び「行く／来る」の尊敬動詞語幹について両唇鼻音は見られない<sup>8)</sup>。

次に、非過去形について、浦方言 m'on, 今

里方言 imorun, 請阿室方言 umooyum, 与路方言 ooyum（いずれも「居る」の尊敬）のように、yu/ru を含む方言と含まない方言があり、今里方言は前者に分類される。

尊敬の補助動詞と尊敬接辞について、他方言では、存在「居る」を表す語彙的尊敬動詞を由来として、動詞の継起形に後続し動作の進行／結果状態の継続と主語尊敬を標示する補助動詞（方言によって mor-/oo- など）が生じている。また、これとは別に他方言では、（アスペクト標示の機能は持たず）主語尊敬のみを標示する尊敬接辞 -i(n)sho- がある。今里方言では、-i(n)sho- は定型表現の一部にのみ見られ、生産的には用いられず、語彙的尊敬動詞由来の補助動詞に対応する形式が、アスペクト標示の機能を失い、継起形接辞と融合して尊敬標示 (-timor-) として（すなわち、他方言における -i(n)sho- と同様の機能を持つ接辞として）用いられている。尊敬と動作の進行／結果状態の継続の両方を標示する場合は、動詞語幹に尊敬標示 -timor- と継続接辞 -chu- の両方が後接する。

(63) shenshee=ga hon yum-isho-n.

先生=NOM 本 読む-HON.NPST

「先生が本をお読みなさる。」

【浦方言：尊敬接辞・「なさる」】

(64) shenshee=ga hon yu-dimor-u=ddoo.

先生=NOM 本 読む-HON-NPST=SFP

「先生が本をお読みなさる。」

表4 語彙的尊敬動詞の音形（命令形）

	居る	行く／来る	言う
(旧) 笠利町佐仁方言	oorī	oorī	—
龍郷町浦方言	m'orī	m'orī	m'orī
大和村今里方言	imorī	imorī	imorī
瀬戸内町請阿室方言	umoorë	umoorë	umorī
瀬戸内町与路島与路方言	oorë	oorë	—

【今里方言：尊敬接辞・「なさる」】

「先生が仰ったとおりにしたよ。」

- (65) shenshee=ga hon yu-dī  
先生=NOM 本 読む.SEQ  
mo-n.  
PROG.HON-NPST  
「先生が本を読んでいらっしやる。」  
【浦方言：尊敬補助動詞・「～していらっ  
しやる（アスペクト）」】

この他に、(大和村、宇検村、瀬戸内町では、)  
「くださる」及び受益「～してくださる」を表  
す尊敬動詞 (tabo-) を持つ方言も見られる (重  
野2011) が、今里方言には見られない。

## 11. 今里方言の敬語法の特徴

本稿では、今里方言の敬語法について、形態  
統語的特徴を中心に扱った。主な観察・主張は  
以下のとおりである。

- (66) shenshee=ga hon  
先生=NOM 本  
yu-dīmo-chu=ddoo.  
読む.HON-PROG.NPST=SFP  
「先生が本を読んでいらっしやる。」  
【今里方言：尊敬接辞 + 継続接辞・「～し  
ていらっしやる（アスペクト）」】

- ・尊敬動詞は、語幹末に o を持ち、語形変  
化を共有している。ただし、存在動詞「居  
る」の過去形 1 / 継起 / 命令のみ他の尊敬  
動詞と異なっている。
- ・動詞を尊敬形式化する場合は尊敬接辞  
-timor- を中止形に後接させる。
- ・動詞の継続形を尊敬形式化する場合は (尊  
敬補助動詞を用いるのではなく) 尊敬接辞  
を動詞語幹と継続接辞の間に挿入する。
- ・丁寧形式 -(r)yao- はあるものの、聞き手が  
目上であっても用いられなくなりつつある。

不定形について、浦方言 mishori, 今里方言  
mishori, 請阿室方言 mishor(i), 与路方言  
moshor(i) (いずれも「食べる／飲む」の尊敬)  
のように、語幹末に r が現れる方言が見られ  
るが、今里方言では r が現われる<sup>9)</sup>。

また、動詞「言う」の尊敬が「行く／来る」  
の尊敬と同形式になる方言があり、今里方言も  
「行く／来る」の尊敬動詞と同形式となる方言  
である。

- (67) shenshee=ga imo-cha-n  
先生=NOM 言う.HON-PST-ADN  
toori sha=ddoo. 【今里方言：言う】  
通り する.PST=SFP  
「先生が仰ったとおりにしたよ。」

今後の課題として、①敬語形式を用いる対象、  
場面の詳細な記述、②方言間の (地点及び語形  
の面で) より網羅的な対照、及び、これに基づ  
く③敬語形式の歴史的発展の考察が挙げられる。

①について、謙讓形式や丁寧形式、授受表現  
について人間関係に着目しながらさらに調査を  
進める必要がある。

②・③について、特に、過去形 1 / 継起形 /  
命令における異なりが説明できるような発展の  
プロセスを考える必要があるといえる。

- (68) shenshee=ga umoo-cha-n=nishi  
先生=NOM 言う.HON-PST-ADN=ように  
shaa=diyaa. 【請阿室方言：言う】  
する.PST=SFP

## 注

- 1) 国土地理院発行の地図データをもとに Thomas  
Pellard 氏が作成した地図を編集した。

- 2) 方言で歌いながら輪になって踊るもので、伝統的に、豊年祭などで踊られる。
- 3) 上村 (1992: 780) では、奄美大島方言は (旧) 笠利町, 龍郷町, (旧) 名瀬市, 大和村, (旧) 住用村までを奄美大島北部方言, 宇検村, 加計呂麻島・請島・与路島を含む瀬戸内町を奄美大島南部方言と分類している。
- 4) 調査は JSPS 科研費15K16754「与路島・請島を中心とした奄美大島方言の記述的研究」及び国立国語研究所「危機言語・方言」プロジェクトの助成を受けて行った。
- 5) 調査, 分析には共同研究者である白田理人氏 (琉球大学/日本学術振興会特別研究員) の助言を得ている。
- 6) 同様に首里方言においても, 尊敬動詞 mensheen の過去形について, mensheetan は「居た」(状態) を表し, mensoochan は「来た」(動作) を表すとしている (西岡, 2002: 285)。
- 7) なお, 同輩以下が主語の場合でも用い, 同輩以下が主語の場合は尊敬接辞をともなって moori simor- の形で用いるため尊敬表現としては扱わない。
- 8) 表に示したように, 与路方言については, 佐仁方言と異なり, 「寝る」の尊敬動詞語幹に両唇鼻音が現れる。佐仁方言と与路島方言では生じた音変化が一部異なると考えられる (cf. 「集落 (島)」佐仁方言 shoo, 与路方言 shima)。
- 9) (旧) 笠利町の他方言でも r なしの方言が見られるようである。

## 参 考 文 献

- 上村幸雄 (1992) 「琉球列島の言語 (総説)」『言語学大辞典 第4巻 世界言語編 (下-2)』pp. 717-814
- 小川晋史編 (2015) 『琉球のことはの書き方—琉球諸語統一的表記法—』くろしお出版
- 長田須磨・須山名保子 (1977) 『奄美方言分類辞典 (上巻)』笠間書院
- 長田須磨・須山名保子・藤井美佐子 (1980) 『奄美方言分類辞典 (下巻)』笠間書院
- 菊地康人 (2007) [1997初版] 『敬語』講談社
- 重野裕美 (2011) 『奄美諸島方言敬語法の記述的研究』(学位論文), 広島大学大学院教育学研究科に提出
- 須山名保子 (1979) 「親族称呼の体系の崩れるとき: 奄美大島大和浜方言研究ノート II (松尾 聰先生古稀記念特輯号)」『学習院大学国語国文学会誌』22号, pp. 8-27
- 須山名保子 (2001) 「親族称呼の体系の崩れるとき: 奄美大島大和浜方言研究ノート II」『日本列島方言叢書32 琉球方言考 (5) (奄美大島他・沖縄属島)』ゆまに書房, pp. 175-194
- 須山名保子 (2004) 「シラリ形とシテアリ形・シテラリ形—奄美大島大和浜・津名久方言における—」『日本語のアスペクト・テンス・ムード体系—標準語研究を超えて—』ひつじ書房, pp. 266-300
- 須山名保子 (2007) 「鹿児島県大島郡大和村大和浜方言の形容詞」『日本語形容詞の文法—標準語研究を超えて—』ひつじ書房, pp. 183-203
- 須山名保子 (2009) 「奄美大島大和村方言の動詞—大和浜・津名久を中心に—」『科学研究費補助金 (基盤研究 (B)) 研究成果報告書: 平成16年度~平成19年度 (BA31388455)』琉球語諸方言の動詞, 形容詞の形態論に関する調査・研究』高江洲頼子
- 仲宗根政善 (1976) 「宮古および沖縄本島方言の敬語法—『いらっしやる』を中心として—」『沖縄自然・文化・社会』(1976) 九学会連合沖縄調査委員会, 弘文堂, pp. 497-502 [『琉球方言の研究』新泉社 (1987) 所収]
- 西岡 敏 (2002) 「沖縄首里方言の動詞「メンシェーン」の過去形」第4回「沖縄研究国際シンポジウム」実行委員会 (編) 『第4回「沖縄研究国際シンポジウム」世界に拓く沖縄研究』, pp. 280-289. 沖縄: 文進印刷

表5 グロス一覧

1	first person	一人称	LOC	locative	所格
2	second person	二人称	NEG	negation	否定
ABL	ablative	奪格	NOM	nominative	主格
ADJ	adjective	形容詞	NPST	nonpast	非過去
ADN	adnominal	連体	PL	plural	複雑
ALL	allative	方向格	POL	polite	丁寧
APPR	approximative	曖昧	PROG	progressive	進行
AUX	auxiliary	助動詞	PST	past	過去
COP	copula	コピュラ	Q	question	疑問
DAT	dative	与格	QUOT	quotative	引用
DES	desiderative	願望	SEQ	sequential	継起
DU	dual	双数	SFP	sentence final particle	文末助詞
GEN	genitive	属格	SG	singular	単数
HON	honorific	尊敬	TOP	topic	主題
IMP	imperative	命令	WHQ	wh-question	疑問詞疑問
INT	intentional	意志	YNQ	yes-no question	真偽疑問
INTJ	interjection	感嘆詞			